

2022年12月12日

### 目次



### 事業概要

- 1. 当社グローバルビジネスの掲げるテーマ
- 2. 海外拠点について
- 3. 2つのコア事業

# 中期経営計画と今期実績

- 1. 中期経営計画及び今期中間実績
- 2. 中期経営計画に向けた戦略
  - インド事業の躍進
  - Saison Capitalの成長
  - シンガポールを中心としたグローバル体制への移行

### 今後の戦略

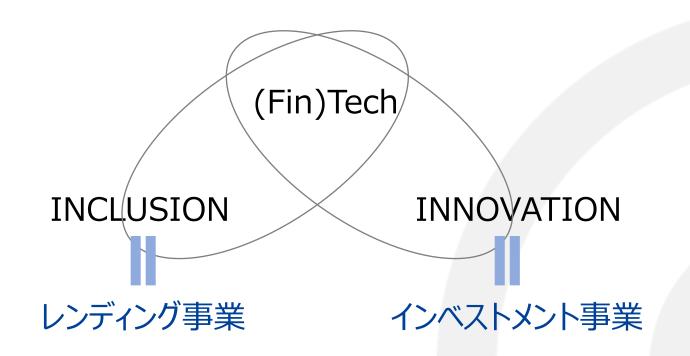
- 1. 「3:3:3:1」の実現に向けて
- 2. レンディング事業の発展・拡大
- 3. サステナビリティへの貢献

# 当社グローバルビジネスの掲げるテーマ



- ✓ フィンテックを中心としたテクノロジー企業との連携を中核に、2つのコア事業を推進
- ✓ レンディング事業を通じて現状大きな社会課題である"ファイナンシャル・インクルージョン"を実現するとともに、インベストメント事業により "イノベーション"を推進することで将来的なビジネスチャンスを広げていく

# (Fin)Tech-led INCLUSION and INNOVATION



# 海外拠点について



- ✓ 現在インド・東南アジア5カ国に事業会社を設置、アジア地域におけるコア事業の発展・拡大を加速
- ✓ 2022年4月シンガポールにIHQ「Saison International Pte. Ltd. (※)」を設置、グローバルに戦える体制へ移行

※Credit Saison Asia Pacific Pte. Ltd.から商号変更

# レンディング事業



### Kisetsu Saison Finance (India) Pvt Ltd.

個人、中小企業向けデジタルレンディング





### **HD Saison Finance Co. Ltd.**

個人向けローン(個品割賦・キャッシュローン等)





### **PT. Saison Modern Finance**

P2Pプラットフォーム経由での中小企業向けレンディング





インドネシア

### Julo Holdings Pte. Ltd.

個人向けバーチャルクレジットカードの提供





### Siam Saison Co. Ltd.

グループ会社商流内のサプライチェーンファイナンス





シンガポール

### Saison Investment Management Pte. Ltd.

オフショアでのレンディング事業(インパクト投資)







### Saison Capital Pte. Ltd.

海外におけるコーポレートベンチャーキャピタル





基

盤

構

築



### Saison International Pte. Ltd.

国際統括本部(IHQ)



# 2つのコア事業(レンディング事業 & インベストメント事業)

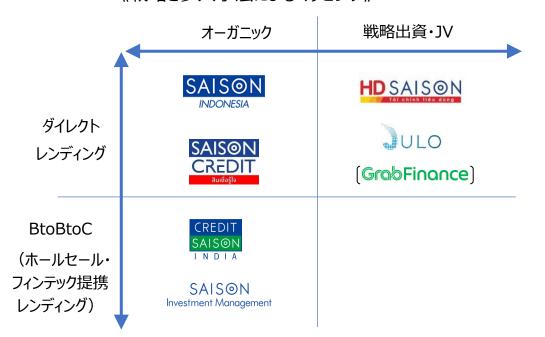
0

- ✓ 各国規制やレンディングの形態に合わせて戦略的且つ柔軟に参入手法を選定
- ✓ インベストメント事業においても目的に合わせて投資手法とソーシング元を決定

### レンディング事業

✓ フィンテック巨大市場であるインドで、オーガニックでの BtoBtoCモデルを展開し成功

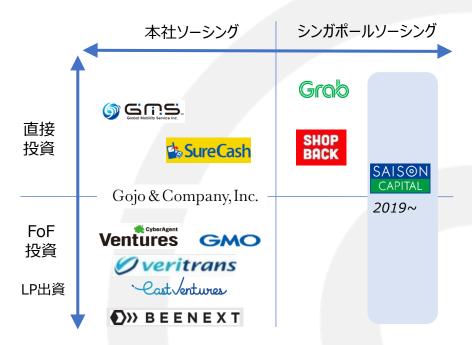
### 《戦略と参入手法によるマッピング》



### インベストメント事業

✓ Saison CapitalによるDirect/FoF投資を主力にリターン創出と新規マーケットのタッピングを実行

### 《投資スタイルとソーシング別マッピング》

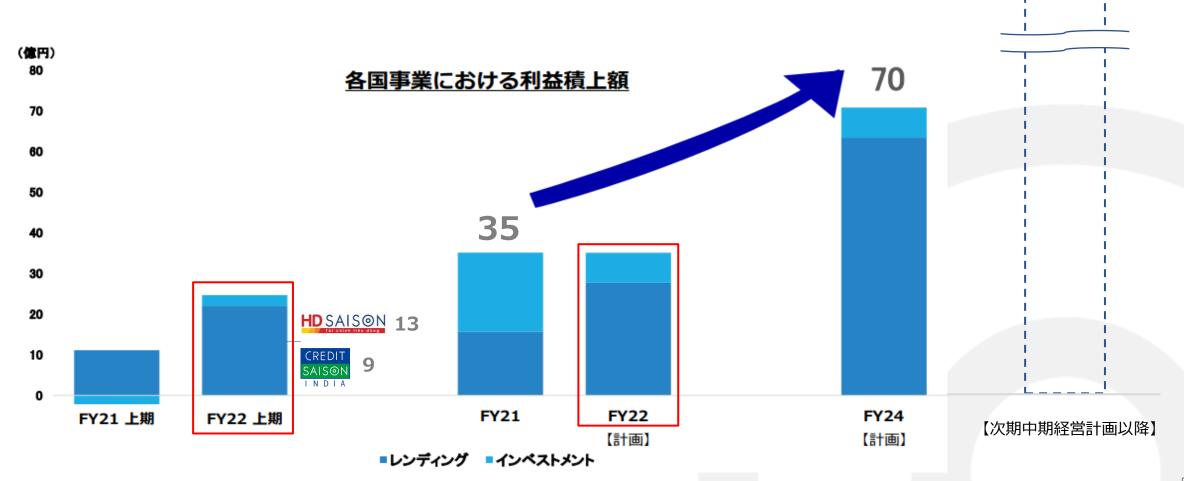


# 中期経営計画及び今期中間実績



当社事業利益の

- ✓ 既存事業の利益積上による24年度70億円達成に向け、今期はインド・ベトナム事業が牽引し堅調に進捗
- ✓ さらに次の中期経営計画を見据え、利益ベースでの当社「第三の柱」を目指す



# 中期経営計画に向けた戦略



- 1. グローバルレンディング事業を、当社グループの柱に育てる
- 2. グローバルインベストメント事業を通じて、次の柱となる事業を創出する
- 3. 上記を支えるIHQ体制を推進する



# インド事業の躍進



# **Kisetsu Saison Finance (India) Private Limited "Saison India"**

• 設立 2018年

株主 クレディセゾン 85%

Saison International 15%

本社 ベンガルール

• 代表 Presha Paragash (CEO)

• 従業員数 約450名

• 事業内容 フィンテックとの提携を中心とした

デジタルレンディング

**Vision** 

**NeoLending Conglomerate that will help enable India's Credit Growth Story** 

**Value** 

LENDING GIANT HIGH PROFITABILITY

HIGH TECH ORIENTATION

• 設立からの歩み







# Saison Indiaの事業戦略

# ホールセールレンディング フィンテック 個人 中小零細 企業 FLDG マイレクトレンディング ダイレクトレンディング GREDIT SAISON IN DIA

- 事業モデル
- フィンテックが融資案件の組成~ローンのブックまでを実施
- Saison Indiaはホールセールローンを提供

- フィンテックが融資案件をオリジネーション
- Saison Indiaが債権を保有
- Saison Indiaは融資額に合わせてフィンテックが一定比率で拠出する預金等を担保として取得(= First Loan Default Guarantee "FLDG")
- Saison Indiaが融資案件の組成~ローン のブックまでを実施

# 狙い

- マーケットに入り込む
- 提携するフィンテック企業の選定

- オペレーション/リスク管理等のノウハウの習得・
- ダイレクトレンディングに向けた準備

- 収益率の向上
- 独自ブランドの価値向上

# 形態

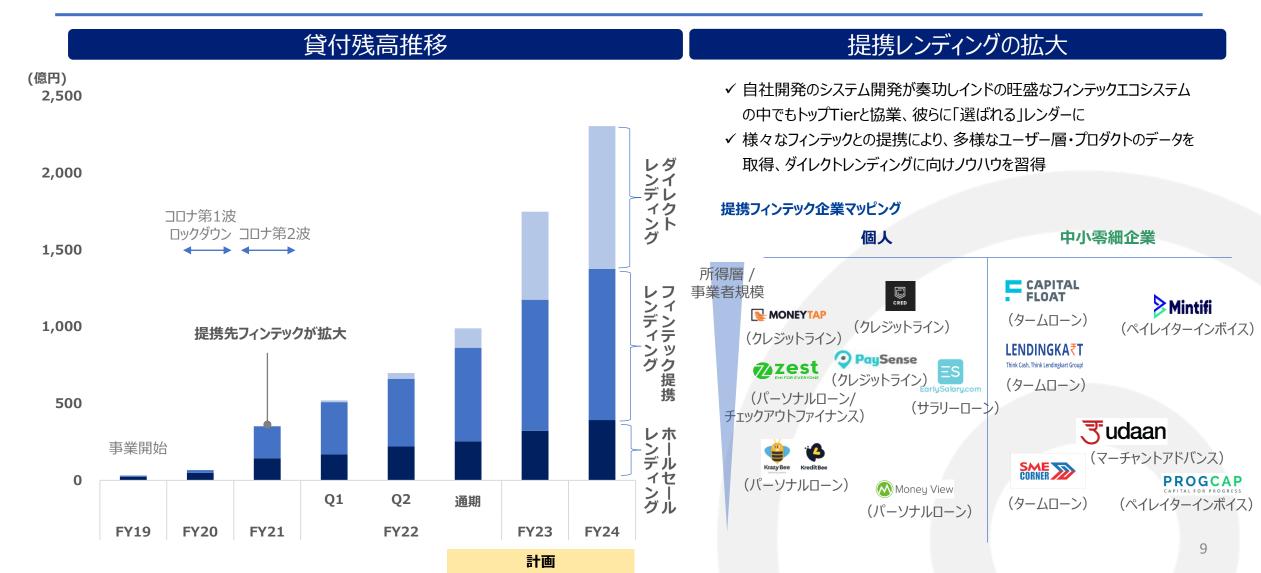
B to B(現地ノンバンク企業)

B to B(現地ノンバンク、フィンテック) to C (個人、中小零細企業)

• B to B/C (個人、中小零細企業)



# Saison India 事業実績





# インドのKey Success Factors

Market potential	● 世界2位の人口と旺盛なレンディングニーズ
	● India Stackと呼ばれるデジタルインフラが整備されていること
	BtoBtoCの担い手となるフィンテックエコシステムが極めて大きいこと
	• フィンテックエコシステムの中で「シニア資金」ニーズは強く、出し手が少ないこと
Core to Our Vision	• Tech-led inclusionというビジョンに合致していること
Risk-return profile	● 初年度から利益を出し且つ複数フィンテックとの提携によるリスク分散の効果
Launch pad for "What's next"	<ul><li>フィンテックエコシステムの中心にポジションを取り、アセット・利益・データ・知見を 積み上げながら「次の手」を練ることができる、最良の発射台</li></ul>
Competitive advantages	● 調達コスト、システムの競争優位性
Capability	<ul><li>● 当社にはそのケイパビリティがあること(リスク、テック、オペレーション等)</li></ul>



# 今後のインド事業戦略

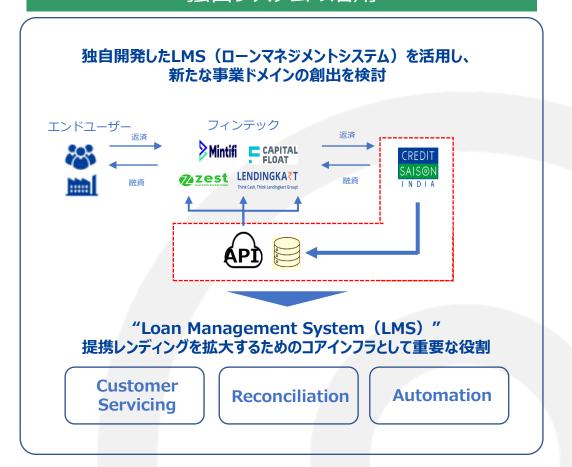
# ダイレクトレンディングの強化



✓ 与信、回収は全十の支店を活用し

た現地調査によりリスクを軽減

# 独自システムの活用



# 2. グローバルインベストメント事業を通じて、次の柱となる事業を創出する



# Saison Capitalの成長



# Saison Capital Pte. Ltd.

• 設立 2018年

株主 クレディセゾン 100%

• 本社 シンガポール

• 代表 森 航介 (Director)

事業内容 海外におけるコーポレートベンチャー

キャピタル

• 投資対象

> エリア

東南アジア・南アジア中心 ファンドを通じて全世界も対象

- > 領域
  - フィンテック
  - Embedded Finance (埋め込み型ファイナンス)
  - Consumer / Saas / Non-Fintech
  - Web3 等
- **▶** ステージ

SeedからSeries Aのアーリーステージ・スタートアップ中心

✓ CB INSIGHTSより世界のCVCトップ5に選出

### State of Fintech | Global Trends | Investors Global: Top CVCs YTD by median Mosaic score of companies in 2022 1 SVB Capital 860 United States 730 840 2 Salesforce Ventures 855 United States 810 860 3 OKEx Blockdream Ventures 750 Malta 690 900 4 Alameda Research Ventures 715 Hong Kong 680 900 715 Singapore 4 Saison Capital 900 Portage Ventures 700 Canada 880 7 Coinbase Ventures 690 United States **CBINSIGHTS** 76

# 2. グローバルインベストメント事業を通じて、次の柱となる事業を創出する



# Saison Capitalの成功戦略

### 独自の投資戦略

✓ 成功投資案件を研究し、類似企業を発掘



✓ ファンド投資による未進出/新興領域へのタッピング



### Web3領域への投資加速

- ✓ 新たなビジネストレンドへの入り込み
- ✓ DeFi、CeFi、NFTFi等金融の新たな分野への先行投資
- ✓ 将来的なレンディング事業へのシナジーも視野

暗号資産 プラットフォーム Flint finblox フィンテック(レンディング)・ **保**険



**Evertas** 

メタバース・その他

MYTHIC PROTOCOL

**KRAYON** 



その他Web3のTier1 ファンドにLP出資

### 人材戦略

- ✓ 起業家、VC/投資業界経験者、クリプトネイティブ等各分野で専門性の高い人材を獲得
- ✓ スカウトプログラム/Nanofund プログラムの実施















# 2. グローバルインベストメント事業を通じて、次の柱となる事業を創出する



# Saison Capitalの成功戦略

# ブランディング

✓ 東南アジア初 "State of ESOPs"発刊



✓ SNSでの積極的な情報発信(Twitter・LinkedIn 等)



✓ メディア掲載も多数



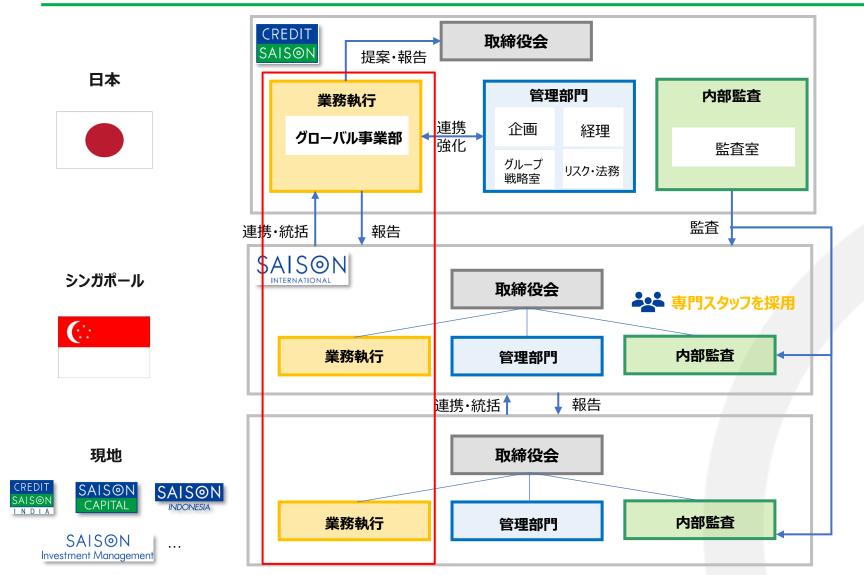
✓ StripeとInsights Programを実施



# 3. 上記を支えるIHQ体制を推進する



# シンガポールを中心としたグローバル体制への移行



- ✓ 2022年4月のIHQ (Saison International) 設置以降、各国事業をリージョナルにサポートするタレントを採用しコーポレート機能を強化
- ✓ 各種権限やルール見直し等国際統 括機能としての基盤を構築
- ✓ 同時に、各セクションを横断する形で 監査体制を強化



✓ 今後も第一線におけるローカル人材の 登用・活用を積極化、同時に日本国 内のバックサポート人材の育成を強化

# 3. 上記を支えるIHQ体制を推進する



# **SAISON Global Summit 2022**













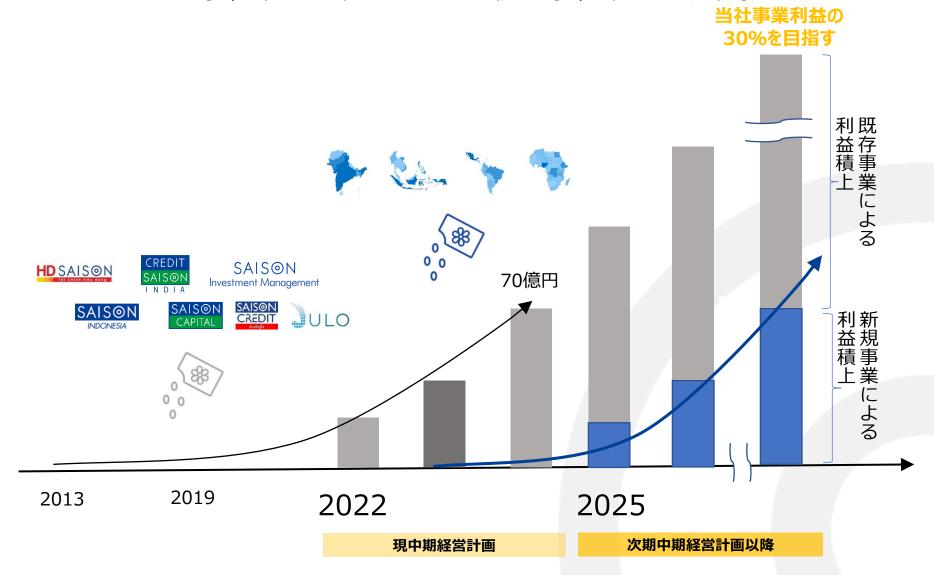


# 今後の戦略

### 次期中期計画以降での3:3:3:1の実現に向けて

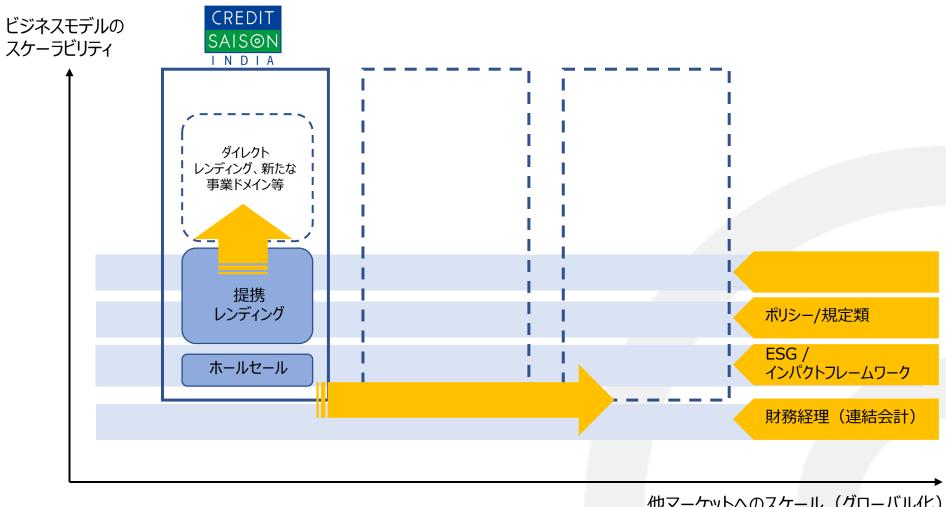
0

- ✓ 次期中期経営計画において、グローバル事業で当社事業利益の30%を目指す
- ✓ そのためには、このタイミングで"事業の種まき"を行い、インドと並ぶ新たな事業の柱の創出が不可欠



# レンディング事業の拡大・拡充

- ✓ シニアレンディングモデルが軌道に乗ったインド事業においては、今後ダイレクトレンディングの拡大を強化
- ✓ インド事業をモデルケースに、他国への横展開を行い"グローバルレンディングの事業化"を志向



### サステナビリティへの貢献 -インパクト投資の推進



- ✓ 個人・中小企業のアンダーサーブド層をターゲットとしたファイナンシャル・インクルージョンをテーマに、グローバル事業全体でインパ クト投資を加速
- ✓ 共通のフレームワークを用いて、グローバルレンディング事業におけるインパクト投資の横断的な推進体制を構築

Impact Theme

### ファイナンシャル・インクルージョン

Strategic Goals 中小零細企業の潜在的 な成長力の引き上げと 経済的機会の提供 十分な金融サービスを 受けていない **個人**の生活向上

SDGs Target

**Impact** 

Frame-

Work











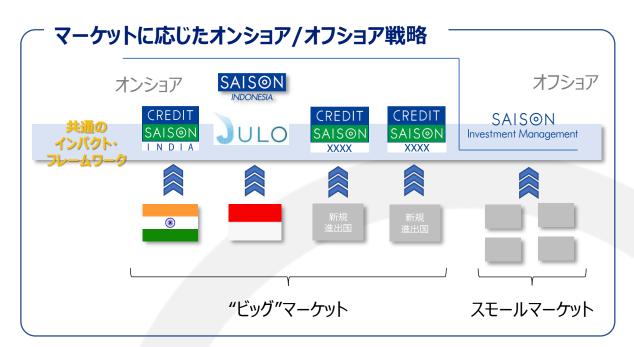












### ソーシャルボンドの発行



- ✓ 2022年6月、アンダーサーブド層に対するファイナンシャル・インクルージョンの実現を目的に、100億円のソーシャルボンドを発行
- ✓ インドにおけるレンディング事業、及びシンガポールを拠点としたインパクト 投資事業の運転資金に充当

# 当資料取扱い上の留意点



当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は 当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に 基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。